



気候市民ダイアログin明石

明石の未来と脱炭素を 考えるワークショップ

参加者
募集

2026.2.15(日) 10:00-16:00

会場：パピオスあかし 6階 定員：30名（応募者多数で抽選）

対象：高校生から40代までの市内在住・在学・在勤者（無料！）

申込：右記よりお申込みください。 ※1/30(金)17時まで

https://www.city.akashi.lg.jp/kankyou/kankyou_souzou_ka/kikousimin.html



学生や子育て世代などの年齢や立場の異なる市民が集まり、明石市のこれからを語り合う場「気候市民ダイアログ」は、未来に向けた新しい取り組みと一緒に描いていく、その第一歩となる対話の場です。

小さな気づきが対話の大切な材料になります。熱中症や台風の増加など温暖化の影響を直接感じるようになってきた今、明石市のこれからを一緒に考えてみませんか。

共催



issue+design



ワークショップ 気候市民ダイアログの流れ

- 9:30～10:00 受付
- 10:00～10:15 イントロダクション
- 10:15～12:00 カードゲーム型プログラム「脱炭素まちづくりPLAY！」
- 12:00～13:00 昼休憩
- 13:00～13:30 自治体職員レクチャー「明石のまちと基礎データを知る」
- 13:30～15:15 ワークショップ「2050年の明石のまちづくりを考えよう」
- 15:15～15:55 プロジェクト発表
- 16:00 クロージング

プログラム



プログラム1 カードゲーム体験

迫り来る気候変動と脱炭素を学ぼう

地域の温室効果ガス排出量を2030年半減を目指して、農家・漁師・電力会社・行政職員・ごみ処理業者などの地域プレイヤーになり、脱炭素プロジェクトに挑戦！

気候変動によって地域でどんな変化が生まれているのか私たちに何ができるのかをゲームを通じて学びます。



プログラム2 明石市職員レクチャー

明石市の現状をデータから知ろう

私たちが暮らす明石市でもすでに変化は始まっています。この講義では、世界や日本で進む脱炭素の動き、明石市ではいま何が起きていてこれから何が起こりうるのかなど、自治体職員がお伝えします。



プログラム3 政策共創ワークショップ

地域を変える気候政策を考えよう

参加者同士で、明石市の気候変動対策やプロジェクトについて対話します。「私たちは、明石をどんな未来のまちにしたいのか」「この地域だからこそできる脱炭素の取り組みは何か」立場や世代を越えて考えていきます。

問合せ先

明石市環境産業局環境室 環境創造課（脱炭素推進係）
TEL 078-918-5786

社会の課題に、市民の創造力を。

issue+design



issue+designとは

社会や地域が抱える課題を市民の創造力とデザインの力で解決へ導く団体です。誰もが安心して暮らせるの実現を目指し、全国でプロジェクトを展開しています。